

ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO. 3



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2006年
9月1日発行

9月は、新世代のための月間です。

ガバナーメッセージ	2	@ 2760 だより	9
新世代月間によせて	4	ガバナーからのお知らせ	10
ガバナー公式訪問報告	8	ガバナーからの報告	11
東尾張分区 I・M開催	8	会員数及び出席報告	15

9月



国際ロータリー
第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

「 風 韻 」

〒470-0373
豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>

Governor Message

ガバナー メッセージ

クラブ会長各位
クラブ幹事各位



ガバナー 齋藤直美

残暑お見舞申し上げます。

新年度も2ヶ月経ちましたがお変わりございませんか。

クラブ計画書を拝見させていただいてますと各クラブ会長さんの「意気軒昂や高し」が感じられ嬉しいかぎりです。

公式訪問に訪れたあるクラブの計画書の中に嬉しい発見がありました。そこには「職業宣言」が記載されていたからです。「職業宣言」は、久しぶりに読ませてもらいました。残念ながらこの宣言文の存在はゆっくりとしかも確実に忘れ去れようとしています。しかし、もっとみじめな目に合っているのが「ロータリー職業倫理訓」(道徳律)ではないでしょうか? 1990年代の前半までは、この二つの名文は職業奉仕の金科玉条の扱いを受け、先輩諸氏から読むことをすすめられもしました。しかし、もしかしたら日本の地区から忘れさられようとしています。奇しくもロータリーの第2世紀を歩みだした今、皮肉なことにロータリーの生誕期のような企業倫理や職業道徳の乱れが多発している現状を見るにつけて、再びこの2つの名文に登場を願うものであります。

そこで、今日はほとんど忘れられた「ロータリーの職業倫理訓」をご紹介します。

「四つのテスト」と共に、多くのロータリアンの座右の銘として親しまれてきた職業奉仕の指針であります。その内容の厳しさにある時はボイコットされ、またある時には復活するという数奇な運命をたどった文章のようです。とかく利潤を追い求めすぎる風潮を戒めて、いかにして職業道徳を保ち職業倫理を高めるかの心構えがまとめられています。

(元来は、アイオワ州シュー・シティ・ロータリークラブの職業奉仕委員会のメンバーが二年がかりで作成し(1915年)、後にその著作権がRIに寄贈されたものであります。)

ロータリーの職業倫理訓（道徳律）

1. 自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好箇の機会を与えられたと考えるべきこと。
2. 自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと。ならびにそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと。
3. 自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功はこれを欲するものではないことを自覚すべきこと。
4. 自分の商品、自分の労働、自分のアイディアを金銭と交換することは全当事者がこれによって利益を受ける限りにおいてのみ、適法にして道徳にかなうものであるとの信念をもつべきこと。
5. 自分の従事する職業の水準を向上させるための最大の努力を払い、かくして、自分の従事する職業の処理の仕方は賢明であつても、利益を産み、この実例にならば幸福の道が開けることを同業者の者に知らしむべきこと。
6. 同業者と同等ないしそれに優る完全なサービスを尽くすような方法をもって企業経営を行なうべきこと。また、もし完全なサービスか否かに疑念の生ずる場合には、当該債務上妥当な範囲を越えてまでもサービスを行なうべきこと。
7. 専門職業にたずさわる者、または企業経営者の最大の資産の一つは、その友人であることを理解すべきこと。
8. 利益のためにみだりに友人の信頼を利用することは、ロータリーの精神と相容れない。
9. 社会秩序の立場から、他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当または論理的なものと考えてはならないこと。
10. 友だちに対して義務を負うと同じように、社会一般の人たちに対してもロータリアンは義務を負うべきこと。
11. すべての人にしてもらいたいと欲することを人に行なうべし。

以上ロータリー職業倫理訓は、とかく目先の金銭を目標にする利益優先型の経営方針に、精神的・倫理的な枠をはめると共に自分の職業に価値を認めて同業者の中にロータリーの理念を広げること、営利行為の根底に友情を置くこと、また友情は非営利的信頼関係であることが謳われています。

ロータリーの倫理訓であると同時に日常生活や経営活動のモラルでもあり、「四つのテスト」と共に職業奉仕の指針ともいえます。

なお、本文中の「友だち」を「ロータリアン」に置き換えることによって、ロータリアン同志の取引関係にも釘を刺しロータリーの親睦を利便や利益を得る手段として利用することを戒めていることに気付いていただきたいものです。

新世代月間によせて

新世代委員会

委員長 加藤 康治



昨今のロータリー運動（原点）は、80年代の輝かしい諸先輩ロータリアンの業績とは異なり、いささかなおざりにされている傾向があります。

ロータリー運動ばかりでなく、すべての分野にわたって先人のたどった道を眺めると、全ての時代の賢い先輩が全力を傾けてそれぞれの問題点を解決し、万古不易の原理として後世に残しています。このことは「ロータリーの原点として」に関する諸書に記されています。

新世代のための月間（New Generations Month）は年齢30歳までの若い青年男女の育成に対し、全てのロータリー活動に焦点を当てるために、指定された月間なのです。

また新世代のための基本的ニーズを支援する行動に着手するよう奨励されております。基本的ニーズとは、インターアクト、ローターアクト、ライラ、教育プログラムへの参加が大きな柱となっております。

◆新世代のための教育プログラム

2002～03年度のガバナー会「青少年教育プログラム」に“教育奉仕”プログラムが提案され、岡部パストガバナーより、新世代委員会に委託されました。新世代のための教育プログラムの実践のための活動を各クラブ、ロータリアンの理解と協力によりプロジェクトを実践いたしております。

みんなの学校へ講師派遣・職業体験を提供します
ものしりロータリアン
みんなの応援隊です

当地区では全てのクラブに配布し、ご活動いただいております。

愛知県教育委員会では「キャリア・スタート・ウィーク推進地域事業」の一環として（中学生の5日間の職場体験）を実施し、生徒児童が「生きる力」を身に付けることで、社会の激しい変化に対応し自主的に自己の進路を選択・決定するなど、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育に支援いたしております。

本年度の推進地域として

- 稲沢地区（稲沢市 9 校）
- 小牧地域（小牧市 9 校）
- 三好地区（三好町 4 校）
- 田原地域（田原市 7 校）
- 名古屋市緑区地域（緑区 3 校）

中学校単位で取組む中学生の5日間程度の職場体験学習を実施するにあたり、ご支援、ご協力をお願いいたします。

インターアクトクラブは36名の研修生と共にオーストラリアの海外研修を終えました。研修先でのホームステイなど様々な体験をし、ひとまわり大きくなって帰国いたしました。

ローターアクトクラブは次世代を担う30歳までの青年男女の会員によって構成され、専門知識開発・指導力の開発・奉仕のプロジェクトなどに取組んでおります。

インターアクト・ローターアクト・ライラ共に1960年代に認証され、混沌とした時代から近來の社会変化に伴ってロータリアンが新世代活動に対する奉仕の実践面も種々の変化が起こりつつあることは歪めません。

新世代の健全育成には「家庭教育・環境」「学校教育・環境」「社会教育・環境」が問われています。過剰な利便性や合理性を求める情報技術（IT）が人間愛を育む文化と理性を欠落されていることが問題視されています。

私たちロータリアンは過去の経験から現実を把握するよう努めなければなりません。社会のニーズに即応した奉仕活動に新たな指針と具体的な活動が求められています。

2006. 9

インターアクト委員会

委員長 沓名 令亨



「地区内インターアクトクラブの現状」

インターアクトとは、14歳から18歳までの青少年（高校生）のためにロータリーが提唱する奉仕クラブで楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。インターアクトで新しい友人を作りながら、指導者としての技能と積極的な行動力を習得しています。インターアクトという言葉は「international action（国際的活動）」を意味します。今日では、世界の約168ヶ国に10000を超えるクラブを擁し、その若い会員数は23万人を超えており、世界各地で青少年がさまざまなインターアクト奉仕活動を通して、国際理解と親睦の輪を広げています。

第2760地区には愛知県内の高校を基盤にした14のクラブと地域を基盤にした1つのクラブがあり、計15クラブ・400名弱のインターアクトクラブ員の活動を22の提唱ロータリークラブがサポートしています。

今年度、地区の活動としては、7月17日に第17回インターアクトクラブ協議会が豊田工業高等専門学校インターアクトクラブ・豊田ロータリークラブのホストで「創造～僕らの未来像～」をテーマに、インターアクトクラブ員及びロータリアン約400名の参加を得て盛大に行われました。ロボット・カラクリ・物作り等内容の濃い分科会の実施など未来に対する取組むべき課題を示してくれたことと確信しております。

又、もう1つのメイン事業である第19回海外派遣研修が41名の派遣団員（研修生36名・引率者5名）で、オーストラリア・メルボルン近郊のジロング市を舞台に「君たちが主役」を基本テーマとし、ホームステイを中心に7月20日から29日に掛けて行い、大きな成果を携えて無事帰国致しました。

今年度のRIテーマ「率先しよう」というロータリーの精神をインターアクトクラブへの提唱・支援を通じて少しでも具現化できればと思います。ロータリーの未来、これからの次代を担う青少年に対して地球の未来・日本の将来を見据えた時、インターアクトクラブへのロータリアンの支援こそが次代を担うロータリーの為の有意義なプロジェクトと確信しております。

地区内のロータリアン並びに各ロータリークラブにおかれましては、地元の高校又地域でのインターアクトクラブの一層の拡大にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

▶本紙14ページでインターアクトの事業を報告致しております

新世代月間によせて

ローターアクト委員会

委員長 服部 良男



今年度、第2760地区のローターアクトクラブは8つで、7月1日現在の会員総数は102名です。6年前の2001年は9クラブで164名でありました。18歳から30歳という年齢制限も起因しているかもしれませんが、残念ながらクラブ数も会員数も減少しています。しかしながらローターアクトの活動は、毎年その量も質も向上しているように思います。

8つのクラブは尾張ゾーン（2つ）、名古屋ゾーン（3つ）と三河ゾーン（3つ）に分かれております。毎月2回の例会以外にゾーンでの活動、地区としての活動のみならず、第2600地区・第2630地区のローターアクトとの交流も行っており、大変活動的にロータリーの精神を発揮しています。

是非、多くのロータリアンに彼らの活動に触れ、そのロータリー精神を感じてもらいたいと思います。提唱あるいは協力ロータリークラブの新世代委員かローターアクト委員でもない限り、それができないことが大変残念であります。地区の委員としてこの数年間彼らの活動に参加して感じたことは、ロータリアンが忘れていたものを彼らの活動の中に見ることがたびたびあるという事です。

日本社会の中で、学校や職場以外で、同じ目的を持った18歳から30歳までの若者がクラブの運営や地区の運営、あるいは親睦や地区大会の企画・運営をする中で、思いやりや感動を共有する場所があるでしょうか。

われわれは戦後、経済価値中心でもっと速く、もっと大きくなることを目指し、いわゆる大量生産・大量消費・大量廃棄・効率などで多くのことを忘れてきました。ロータリークラブは経済価値以外の社会価値を100年追い求めてきたのではないのでしょうか。

若者がそのような経済価値以外の社会価値に目覚め、それを体験できる非常に貴重な組織がローターアクトクラブであると思います。そんなすばらしい機会を新世代に残し、育てていくことがわれわれロータリアンの役目ではないかと思えます。

提唱でも協力クラブでもないこの地区のロータリアンの皆さんが、ローターアクトの活動に触れることができないのが残念です。しかし今年度の地区のホームページは彼らが作成しました。そのアドレスは<http://2760.aichi.com/>です。是非、活動内容をご覧ください。そして皆さんの家庭や職場にいる若者にローターアクトを紹介し、入会を薦めてください。それが100年を超えたロータリアンの役目ではないでしょうか。

2006. 9

ライラ委員会委員長 **熊澤 勝則**

ライラセミナーも今回で15回目となります。国際ロータリー2760地区では1993年岡崎市で第一回が開催され、以後さまざまなテーマのもと数多くの受講生が議論されたと思います。

ロータリアンの中にも、「ライラ」の意味を知らない人が結構大勢いると感じています。「ライラ」とは(Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者育成プログラムの略称))のことであり、国際ロータリーでは1971年に「地域社会の指導者」として、また「善良な市民」としての資質を志す事を目的に青少年指導者育成プログラムとして「ライラセミナー」を位置づけています。1泊2日の短い時間ですが次世代を担う若い人々とロータリークラブ会員が共に過ごし、指導力・奉仕の精神を伝え、友愛を深めると同時に参加者が自分達の地域社会に奉仕するための関連した知識、技術あるいは人間関係等を学ぶ「地区プロジェクト」であります。

このセミナーの大きな特徴はロータリーに関係のないところから青少年を集め、ロータリー会員が共に過ごし、指導力の養成・奉仕の精神を伝えることにあります。友愛を深めるとともにロータリークラブそのものの啓発になると思います。

「ライラセミナー」を開催するに当たり、ホストクラブは約1年前から計画・立案・募集・宿泊施設の確保等、大変な御尽力をされております。この努力に報いる為にもより多くの受講生を各クラブより送り出してくださいませようお願い致します。

今回のライラセミナーのテーマは「将来の日本」です。

現代社会の抱える様々な問題として、たとえば高齢化社会の進展による親子の関係、弱肉強食化システム、社会モラルの低下等々多くのことが現実化しています。そこで今回の「ライラセミナー」に於いては、将来に向かって「この国のこころ」「この国のかたち」を若い人がどう考え、どうしたいのかを大いに議論していただきたいと思います。そしてロータリアンを含めた我々世代が将来に向けてどういう道筋を作るべきかも一度真剣に考える参考になればと思います。

ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋中ロータリークラブ	岡野 剛久	高橋公比古	138名

開催日 7月31日(月) 開催場所 名古屋観光ホテル

44回開催されますガバナー公式訪問の初回に、我が名古屋中ロータリークラブが光栄にもご指名をうけました。当日は斎藤直美ガバナーと藤井伸三地区幹事をお迎えして和気あいのうちに公式訪問が行われました。

例会前の会長幹事懇談会では、会長、副会長、幹事、会長ノミニ、副幹事、そして加納バスターガバナーにも加わって頂き、岡野会長より中 RC の現状と地区大会に向けた準備の進捗状況、また本年度の活動方針などについてお話しして、非常に和やかな雰囲気の中で懇談していただきました。その中で、今後の指針となる的確なご意見と地区方針について大変有意義なご指導を頂戴しました。

また、例会では、ウィリアム（ビル）・ボイド RI 会長のテーマ「Lead the way【率先しよう】」と、「ロータリー家族＝青少年育成」、「ロータリアンの育ち方」、「クラブ奉仕は国際奉仕への第一歩」など強調事項について具体的かつ詳細な説明をいただきました。



それを受け、今年度、斎藤ガバナーの地区方針「原点回帰」と諸施策についてロジカルにお話しいただき会員一同大いに勉強させて頂きました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
犬山ロータリークラブ	日比野良太郎	田中進一郎	82名
小牧ロータリークラブ	堀井 武	松尾憲二郎	52名

開催日 8月8日(火) 開催場所 名鉄犬山ホテル

本年度のガバナー公式訪問は、犬山・小牧の親子クラブの連携プレーにて、斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎え致しました。

会長・幹事懇談会で話われましたことを、斎藤ガバナーより卓話の中で、両クラブの良い点としてご講評いただきました。犬山 RC は「みつめよう45周年の歴史、培おう未来に向かって」をスローガンにロータリー精神の原点に立ち返りつつ、率先して新事業にも取り組みます。

小牧 RC は、「ONCE A WEEK WITH YOU」をテーマにビル・ボイド RI 会長のおっしゃる楽しい例会作りを心がけます。斎藤ガバナーには、私達の強調事項を深くご理解いただき、心強い後押しをいただく中、私達は、本年度の事業を遂行する決意を新たに致しました。



「第2760地区 東尾張分区 I・M(Intercity-Meeting)開催」

東尾張分区 ガバナー補佐 江崎 柳節
東尾張分区 I・M実行委員長 舟橋 弘

今年度は斎藤ガバナーの方針である「原点回帰」「ロータリーを学ぼう。」に則り、I・Mを開催することになりました。当分区は第2760地区の先陣を切り、万全の準備を整えて皆様をお迎え致します。I・Mはロータリーの学習と親睦を目的とし、分区内会員が一同に集い討議する場です。

第2830地区バスターガバナー関場慶博様をお招きしての講演とフォーラムの実施、そして懇親会など盛りだくさんの内容を予定して、全会員がご出席を頂き一層親密な連帯感を共有出来たらと願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

ブ ロ グ ラ ム

受付・登録	12:30~13:30 (友愛の広場) ※昼食の用意はありませんので、各自、事前にお済ませ下さい。
第一部：式典	13:30~14:00
第二部：招請講演	14:00~15:30 講師 R 第2830地区 バスターガバナー R 研修リーダー 関場 慶博 様(弘前ロータリークラブ)
第三部：フォーラム 全員参加型分科会	15:45~17:15
第四部：次期ガバナー補佐紹介	17:15~17:30
第五部：懇親会	17:30~19:00

★開催日 2006年9月30日(土曜日)

★開催場所 名鉄犬山ホテル

@2760だより

半田南ロータリークラブ 『中学生ハローワーク』

中学生を対象に、社会の成り立ちについての理解や職場観・勤労観の育成、適正な人間関係を築く力の育成を図るために職場体験やボランティア活動等を行う「中学生ハローワーク」が半田南ロータリークラブによって行われましたのでご紹介致します。

内容

この事業目的は、職業観の育成はもちろんのこと、学校では取り組むことに出来ない職場の提供・職場の体験の場をロータリークラブが担い、働くことの夢と希望を与える。そして、うわべではない真の日々の労働を体験することにより、現実的な社会の一員として職業を担う意識を育てて行く。

1. 講演会の開催

この事業の趣旨を説明するとともに、職業観・勤労観の育成のための講演会、ワークショップを展開。

日時 平成18年 8月 5日(土)

場所 半田市立半田中学校

対象 2年生生徒全員(312名)

講師 鈴木 英敬

経済産業省・商務情報政策局情報政策課
課長補佐 (IT戦略等担当)

2. 夏休みを利用して職場体験・ボランティア体験の実施 (3日間)

3. 今後の継続的な事業展開のための資料・報告書の作成

- 講演会・ワークショップのビデオ作成、配布 (半田市内の他の四中学校に配布)
- 地区ロータリー新世代の委員会作成の「みんなの応援隊です」の利用奨励



森島昭二ガバナー補佐との名刺交換



熱心に講演を聞く生徒のみなさん



半田RC・永田明世会長の総評

◆ 職場体験事前学習ふりかえりシートより ◆

- 鈴木講師のお話は、体育館の中の暑さを忘れるくらい集中して聞くことができた。名刺交換は、本物の社長さん相手に緊張したけど、すごくためになった。本番でこの学習をいかしたい。(Y・A)
- 今回の事前学習は、職場体験の時だけでなく、将来の為になることだった。(H・M)
- 社会の厳しさや、マナー・ルールなど詳しくわかって良かった。
鈴木講師の講演もとても分かりやすく、今までに聞いたことがない内容でためになりました。この事前学習で学んだことを職場体験でいかしたいです。(Y・M)
- 今日学んだことは、職場体験やこれから先の就職する時にためになることばかりだった。この学習をいかして職場体験頑張ります！(H・K)

ガバナーからの お知らせ

地区大会の予告

『Lead the way』『原点回帰』

場 所 ウェスティンナゴヤキャッスル

日 時 第1日目/11月18日(土)

第2日目/11月19日(日)

ホストクラブ
名古屋中ロータリークラブ

第1日目 アトラクション

総合プロデューサー：佐々木 侑利子
(日本室内楽アカデミー理事長・ピアニスト)

第2日目 記念講演

講師：奥田 碩 氏
(日本経団連名誉会長、トヨタ自動車取締役相談役)



地区大会事務局

〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル内 名古屋中 R C
TEL.052-219-4020 FAX.052-219-4023 E-mail:rc-chikutaikai06@t2-net.jp

「ロータリーの友 表紙」

入選作品のご案内

その1

「ロータリーの友」8月号より、表紙写真に会員の作品が掲載されております。

総数249点の応募がありました。当2760地区より3名の方が入選されましたので、作品を順次ご紹介致します。

ロータリーの友
9月号表紙

江南ロータリークラブ
樋江井 誠さん



新メールアドレスの お知らせ

東知多ロータリークラブの新しいメールアドレスが出来ました。※尚、従来のアドレスも使用出来ます。

New hrcr@cac-net.ne.jp

ホームページ開設の お知らせ

名古屋空港ロータリークラブのホームページが開設いたしました。

http://www.geocities.jp/nagoya_airport_rc/

2008-2009年度 ガバナーノミニー候補の推薦について

8月号で、締切日/2006年9月1日(金)必着とさせていただきますが、締切日につきましては改めて12月号に掲載いたします。

ガバナー からの報告

「R I 2760地区会員増強委員長会議報告」

地区増強委員長 菊岡深智子

日時・場所：平成18年8月2日(水) 名鉄グランドホテル

● 挨拶 菊岡会員増強委員長

8月は会員増強月間です。本日の地区会員増強委員会会議にあたり、ご多忙の中ご参集を頂きありがとうございます。本日の会議予定は、亀岡 弘 RRIMC の「あなたは誰に声をかけられましたか」と題した基調講演及び会員増強に実績のあったクラブ・特色のあるクラブの事例発表を予定しております。昼食後には、5つの議題についてグループ討議を予定しております。本日の会議が必ずや各クラブの会員増強のご参考になるものと考えております。



グループ討議の意見まとめ

1. 会員増強に対してのアイデア

- ・早朝例会への取組
- ・法人会、青年会議所メンバーへのアプローチ
- ・女性会員の入会
- ・ホームページの充実
- ・入会用の小雑誌を作成する
- ・会員増強はクラブ会員全員の協力が必要
- ・地元紙にロータリーの活動記事を掲載しパブリシティの実践
- ・体験入会をしていただく

2. 新入会員がロータリーになじむには

- ・入会式に奥様も同席する
- ・推薦者はかならずフォローをする
- ・新入会員には全メンバーが話し掛けられるような明るい例会の開催

3. 会員減少の原因に取り組み

- ・例会をたのしく企画する（ハワイヤン例会等）
- ・趣味の会（同好会）の設立
- ・IMの復活 入会当初の教育が必要

4. 退会理由

- ・会社都合による退会
- ・例会が楽しくない
- ・会話がないう例会

5. 地区会員増強委員会メンバーへの依頼

- ・楽しい例会にするための方法などの小雑誌を作成する
- ・卓話をまとめ雑誌を作成する
- ・豊田ロータリーがまとめた新入会員研修資料「ロータリーについて」を地区で発行してほしい
- ・オリエンテーションのあり方についての指針を作成してほしい。

ガバナー
からの報告

「R I 第2760地区ロータリー財団セミナー報告」

- ▶ 日 時 2006年8月4日(金)
- ▶ 場 所 名鉄グランドホテル
- ▶ 出席者 [地区役員、地区財団委員会
地区内81クラブ会長、会長エレクト、ロータリー財団委員長]



上記の日程で財団セミナーが開催されました。

まず斎藤直美ガバナーの挨拶から始まり、深谷友尋R財団委員長よりR財団の活動と使命について説明があり、そののち野村重彦日本恒久基金委員 (PDG)、福田清成財団カウンセラー (PDG)、江崎柳節ガバナーエレクトよりご挨拶いただきました。

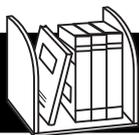
そしてRFPD日本担当委員長・第2830地区パストガバナー関場慶博氏を講師に迎え、「ロータリーの夢の実現のために一私たちのロータリー財団を慈しみ育てよう!」と題して特別講演が行われました。財団がロータリアンに理解されにくいのはその内容が分かりにくいからだとのご指摘から大変分かりやすく財団についての説明をいただき、財団が進めているプログラムについても同様に理解しやすいように解説いただきました。ポリオ撲滅事業についても、



1961年に生ワクチンを導入し5,600余もあったポリオ患者がほぼ10年後の1972年に完全に撲滅した日本の事例がもとになったというお話や、講師の海外での活動のお話には大変感動しました。

また特別講演ののちに、R財団の年次寄付委員会、恒久基金委員会、地区補助金委員会、財団奨学委員会、財団学友委員会、GSE委員会、ポリオプラス委員会より委員会事業の説明とクラブへの協力要請をしました。

今回のセミナーは、大変好評で特に次年度のプログラムを考えておられる各クラブ会長エレクトには有意義なものであったと思われました。



文庫通信 227号



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

◆ 出 会 い ・ 友 情 ・ 奉 仕 ◆

- ◎ 「第2世紀へのクラブ活性化の条件」 南園 義一 2006 3p (D.2650月信)
- ◎ 「ロータリーにおけるサービスの理念と職業活動の意義について」 菅生 浩三 2006 9p (D.2690地区大会)
- ◎ 「クラブ運営について」 高土 雅次 他 2005 5p (D.2660地区大会パネルディスカッション)
- ◎ 「奉仕の世紀を迎えて」 塚原 房樹 他 2006 12p (D.2510地区大会シンポジウム)
- ◎ 「クラブの奉仕活動について」 岡本 貴夫 2006 6p (D.2690地区大会)
- ◎ 「ロータリーの夢を叶えるロータリー財団」 片岡 暎子 2006 7p (D.2510地区大会)
- ◎ 「還ろう 米山梅吉の原点に」 内藤 成雄 2006 4p (米山梅吉記念館報 シンポジウム)
- ◎ 「CLPって何だ?」 三木 靖 2006 3p (D.2730月信)
- ◎ 「四大奉仕を尊重したCLPに基づいたクラブ細則例」 田中 毅 2006 5p (D.2680月信)
- ◎ 「ロータリアンのマインド調査とその課題」 小船井修一 2006 5p (D.2500月信)
- ◎ 「変わり行くロータリー」 佐藤 邦夫 他 2006 12p (D.2830IMシンポジウム)
- ◎ 「霧多布のエソヤマザクラ」 道下 俊一 2006 7p (D.2500月信)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

「2005-2006年度 派遣留学生帰国報告会の報告」

青少年交換委員会 委員長 黒田勝基

日時・場所：2006年8月19日(土) ウィル愛知

毎年、8月の第3土曜日に「ロータリー青少年交換プログラム」で1年間海外に派遣された学生の帰国報告会を行っています。今年度は2004年8月に選考試験を行い、その後約1カ年にわたる留学のためのオリエンテーションを経て1年間の留学を終えた、2005年3月派遣（オーストラリア1名、ブラジル2名）と8月派遣（USA2名、カナダ1名、フィンランド1名、フランス1名、ドイツ1名）の総勢9名が無事帰国しましたので8月19日(土)にウィル愛知の大ホールにて報告会を行いました。

当日は、齋藤ガバナー、安井国際奉仕委員長、鈴木国際奉仕副委員長（前青少年交換委員長）もご出席いただき、各ロータリークラブからは17のロータリークラブの国際関連委員長、委員、派遣学生の保護者、今年度選考試験合格者（派遣候補生）などが参加され100名弱の出席をいただきました。

青少年交換プログラムはロータリープログラムにあって唯一ロータリアンの子弟、関係者が参加できる素晴らしいプログラムで今回は4名の学生がこの基準に当てはまっております。また、単なる語学留学とは違い文化交流を中心にそれぞれの留学生は派遣先で多くの国から来た留学生と直接交流ができ、留学の悩みや苦しみ、淋しさ、楽しさとともに分かち合う機会（旅行やミーティング）が多くあるという特徴を持っています。今回の発表でも、留学先で出会った多くの国の派遣留学生との交流を通じて一生の親友に出会えたという発表がほとんどの学生から聞こえてきました。その交流の広がり、帰国した学生たちが着ているロータリージャケットについてのピンバッジの多さが証明しております。

そしてまた、高校生という多感な1年間を海外で過ごし、我々が想像する以上の苦しみや悩みを抱え、それを自分の力で乗り越えてきたという自信あふれる姿がこの帰国報告会で表現されておりました。

そして、参加者全員が感動するほどの、成果を発表してくれました。

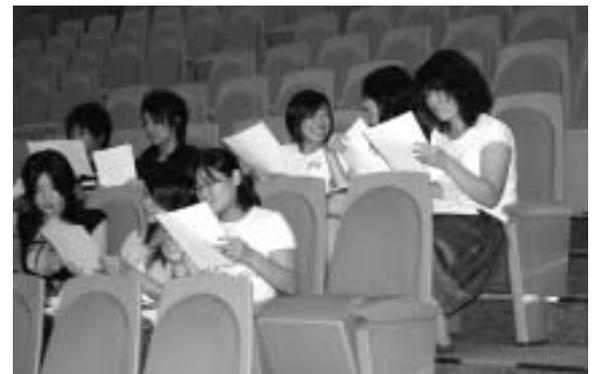
本当に1年間で学生たちは大きくなります。

我々青少年交換委員会は、このような感動を全ロータリークラブと分かち合いたいと思っています。毎年2月の世界理解月間（学生たちは試験とぶつかり前後していただくこともありますが）に各例会での卓話に呼んでいただきたいと思います。委員会にご一報いただければと思います。

また、来年こそ2760地区の全ロータリークラブにこの帰国報告会に参加していただきたいと思っています。それがこの青少年交換プログラムを理解していただく第1歩となります。

『全世界の全ての高校生が、この交換プログラムに参加すれば、世界の争いはなくなる』

2005-06年度国際ロータリー会長 ステンハマー氏の言葉です。



『第19回海外派遣研修報告』

インターアクト委員会 委員長 沓名令亨

第19回海外派遣研修の準備は、2005年11月の第1回地区インターアクト委員会での研修先協議検討からスタートしました。秋田敬治委員長を交えた委員会での協議の結果、研修先は前年に続き、治安の良いオーストラリアにて再度実行することに決定しました。

2006年2月18日(土)に行われた地区インターアクトクラブ顧問・委員長懇談会の席上で、各クラブ顧問の皆さんに第19回海外派遣研修の募集要項を説明し、研修参加者の募集をお願いしました。

海外派遣研修の事前研修は、従来と同様1泊2日の合宿形式で6月9日・10日と7月8日・9日の土・日曜日2回に亘り、昨年と同じく大府市勤労文化会館で行われました。

「第1回事前研修会では、女子(30名)に比べ男子(6名)の数が少ない事が心配でしたが、全体の正・副リーダーを決めるところから各班の班長、副班長、アトラクション、報告書、救護の係などの担当決めて全員が前向きになり、それぞれが溶け込んでいました。今回もプログラムに組み込まれていた前回海外派遣研修参加メンバーOB・OGによる体験談やアドバイスは今回の研修生にとって非常に参考になったようです。」

また「第2回事前研修会では、今月より私が初めて委員長として研修を担当するという事で、非常に緊張していたのを覚えています。団員生徒達はアトラクション企画に全力を注いでいましたし、英会話レッスンでは盛り上がる場面もあったと思います。」

7月20日(木)	オーストラリアへ向けての出発日には、中部国際空港・セントレアに集合し午後3時より特別待合室にて出発式が行われました。
7月21日(金)	昼前に台北・香港・アデレード経由3ヶ所の乗り継ぎで約15時間程の飛行時間を経てメルボルンに無事到着。それぞれのホストファミリーの自宅に訪問いたしました。
7月24日(月)	今朝、オベロンハイスクールに集まってきた研修生達の顔は、2日ぶりに会う仲間達を見つけて安心したのかホッとした表情で、それぞれのホームステイ先の話などで会話が弾んでいるように見えました。その後オベロンハイスクールの生徒と一緒に各々が指定された授業に3時限参加しました。日本の授業との違いに多少の戸惑いがあったみたいです。
7月25日(火)	昨日の朝と同様、研修生達は学校に集合し午前中に交換会をしました。現地のジロング・ロータリークラブの例会に参加する事ができ、我々各々の提唱ロータリークラブ22個のバナーをジロングRCと相互に交換しました。インターアクトとオーストラリアのロータリアンとの国際交流の場が持てた良い機会であったと思います。
7月26日(水)	グレート・オーシャン・ロードへの遠足は、雄大な海岸の壮大な景色に団員全員が感銘したようです。途中、自然に生息するコアラやゴルフ場にてカンガルーを見ることもできました。
7月27日(木)	終日、メルボルンで班別研修、サウスジロング駅から電車Vラインに乗ってメルボルン市内へ出掛け、班毎に事前検討した行動計画に沿い自主研修をしました。
7月28日(金)	朝、ホストファミリーに別れを告げ、パララット観光とソプリンヒルの見学をしました。昔の金の採掘と町並みを再現したテーマパークで古き良き時代のオーストラリアを見た気がしました。
7月29日(土)	早朝2時にホテルを出発、メルボルン空港から香港経由で中部国際空港に夜9時過ぎに到着。



研修に参加した生徒達は、オーストラリアで一人ひとりが異なる文化に触れ、身を持って国際交流を体験できたことと思います。彼等が将来、もっと長期の海外留学や海外で仕事をするようになった時、また日本に帰って来てから自分の身の回りの外国人と接する時、今回の経験がきっと役立つと思います。そして、今回のこの出会いを今後も大切にしたいと思っています。これからもっと大きく、もっと美しく、もっと逞しく成長してくれることを切に期待します。

最後に、海外派遣研修を実施できた事に感謝し、またこれを支えて頂いた地区提唱ロータリークラブ、インターアクトクラブの皆様にお礼申し上げます。

会員数及び出席報告 (平成18年7月分)

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	7月出席率	
		2006年7月1日	7月1日女性	2006年7月末日		7月	累計	7月	累計			
		7月1日	女性	7月末日		7月	累計	7月	累計			
南尾張分区	半田	60	3	61	3	1	1	0	0	4	98.11%	
	常滑	54	0	54	0	0	0	0	0	4	97.23%	
	東海	57	2	59	2	2	2	0	0	4	95.76%	
	東知多	24	1	24	1	0	0	0	0	4	81.48%	
	半田南	49	1	49	1	1	1	1	1	4	98.94%	
	知多	23	0	23	0	0	0	0	0	4	88.05%	
	大府	25	1	26	1	1	1	0	0	4	91.25%	
	7 RC	292	8	296	8	5	5	1	1		92.97%	
西尾張分区	一宮	78	0	79	0	1	1	0	0	4	97.98%	
	津島	75	3	76	3	1	1	0	0	4	88.75%	
	尾西	31	0	32	0	1	1	0	0	3	92.64%	
	一宮北	55	0	55	0	0	0	0	0	4	93.14%	
	稲沢	60	0	61	0	1	1	0	0	4	88.78%	
	あま	88	0	88	0	3	3	0	0	3	97.67%	
	名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	0	4	87.72%	
	尾張中央	46	0	47	0	1	1	0	0	4	88.90%	
	一宮中央	53	4	54	4	1	1	0	0	4	90.33%	
	9 RC	525	8	531	8	9	9	0	0		91.77%	
東尾張分区	瀬戸	73	3	77	3	4	4	0	0	4	100%	
	犬山	82	0	82	0	0	0	0	0	4	100%	
	江南	52	1	53	1	1	1	0	0	4	96.85%	
	小牧	51	3	52	3	1	1	0	0	4	94.55%	
	春日井	62	2	62	2	0	0	0	0	4	98.75%	
	尾張旭	30	0	30	0	0	0	0	0	4	99.17%	
	名古屋空港	56	1	56	1	0	0	0	0	4	95.65%	
	瀬戸北	70	4	70	4	0	0	0	0	4	100%	
	岩倉	19	0	19	0	0	0	0	0	4	93.41%	
	豊山・城北	21	1	23	2	3	3	1	1	4	84.87%	
	愛知長久手	22	2	22	2	0	0	0	0	4	82.95%	
	11 RC	538	17	546	18	9	9	1	1		95.11%	
	西名古屋分区	名古屋	178	0	184	0	6	6	0	0	4	94.66%
		名古屋西	102	0	101	0	0	0	1	1	4	88.75%
名古屋南		114	0	114	0	4	4	0	0	4	95.24%	
名古屋みなと		72	0	73	0	1	1	0	0	4	97.76%	
名古屋東南		72	6	72	6	0	0	0	0	4	94.29%	
名古屋中		137	0	139	0	2	2	0	0	4	100%	
名古屋瑞穂		72	0	72	0	0	0	0	0	4	98.11%	
名古屋大須		68	3	68	3	0	0	0	0	4	94.47%	
名古屋栄		71	0	72	0	1	1	0	0	4	94.52%	
名古屋名南		78	12	78	12	0	0	0	0	4	97.46%	
名古屋名駅		93	4	94	4	1	1	0	0	4	95.75%	
名古屋西南		48	6	47	6	0	0	1	1	4	95.58%	
12 RC		1,105	31	1,114	31	15	15	2	2		95.55%	

クラブ	平均
平均出席率	81
	94.60%

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	7月出席率
		2006年7月1日	7月1日女性	2006年7月末日		7月	累計	7月	累計		
		7月1日	女性	7月末日		7月	累計	7月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	94	0	95	0	2	2	1	1	4	100%
	名古屋東	91	0	91	0	0	0	0	0	4	96.09%
	名古屋守山	65	7	65	7	0	0	0	0	4	91.67%
	名古屋和合	96	0	97	0	1	1	0	0	4	92.42%
	名古屋名東	57	6	58	7	1	1	0	0	3	100%
	名古屋名北	46	7	46	7	0	0	0	0	4	97.81%
	名古屋千種	58	6	59	6	2	2	1	1	4	94.25%
	名古屋昭和	59	0	60	0	1	1	0	0	4	97.85%
	名古屋錦	34	6	34	6	0	0	0	0	4	92.43%
	名古屋東山	57	2	57	2	0	0	0	0	4	60.53%
	名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	4	82.30%
	11 RC	681	34	686	35	7	7	2	2		91.40%
	東三河分区	豊橋	118	4	118	4	0	0	0	0	4
蒲郡		58	0	58	0	0	0	0	0	4	91.25%
豊橋北		91	2	91	2	0	0	0	0	4	97.61%
豊川		68	0	68	0	0	0	0	0	4	95.83%
田原		56	1	56	1	0	0	0	0	4	93.73%
豊橋南		64	0	64	0	1	1	1	1	4	95.97%
新城		55	0	55	0	0	0	0	0	4	93.64%
渥美		35	0	39	0	4	4	0	0	4	88.57%
奥三河		20	3	20	3	0	0	0	0	4	92.10%
豊川宝飯		54	0	55	0	1	1	0	0	4	91.70%
豊橋ゴールデン		63	0	62	0	0	0	1	1	4	95.91%
田原パシフィック		68	0	68	0	0	0	0	0	4	92.87%
豊橋東		48	0	48	0	0	0	0	0	4	100%
13 RC		798	10	802	10	6	6	2	2		94.28%
西三河分区	岡崎	95	1	97	1	2	2	0	0	4	99.68%
	豊田	80	0	81	0	1	1	0	0	4	100%
	岡崎南	95	2	95	2	0	0	0	0	4	99.37%
	豊田西	101	0	100	0	0	0	1	1	4	98.17%
	岡崎東	65	0	64	0	0	0	1	1	4	93.27%
	豊田東	81	0	82	0	1	1	0	0	4	96.23%
	岡崎城南	74	0	75	0	1	1	0	0	4	97.14%
	豊田三好	21	2	21	2	0	0	0	0	3	94.74%
	豊田中	47	5	50	5	3	3	0	0	4	100%
	9 RC	659	10	665	10	8	8	2	2		97.62%
西三河分区	刈谷	89	2	92	2	3	3	0	0	4	100%
	安城	62	1	62	1	0	0	0	0	4	96.02%
	西尾	74	1	74	1	0	0	0	0	4	98.61%
	碧南	75	0	77	0	3	3	0	0	4	97.31%
	一色	30	0	30	0	0	0	0	0	4	100%
	高浜	41	2	41	2	0	0	0	0	4	100%
	知立	66	0	66	0	0	0	0	0	4	100%
	西尾 KIRARA	62	0	63	0	1	1	0	0	4	100%
	三河安城	53	5	54	5	1	1	0	0	4	91.15%
	9 RC	552	11	559	11	8	8	0	0		98.12%

地区内クラブ数 81RC	2006年7月1日会員数	5,150名	内女性 129	増加会員数(累計)	67名
	当月会員数	5,199名	内女性 131	減少会員数(累計)	10名
	当月平均出席率	94.60		差引純増会員数(累計)	57名



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の表紙



「風韻」

小原和紙工芸
豊田ロータリークラブ会員
日展会員 山内昇三作

淡いピンクに白い花。その凛とした姿が緑の中に印象的に映った。